長洲中だより

校訓
創健誠
造康実

第６号
校長（好調）室だより
発行　平成３０年６月１８日
文責　校長　中山直幸

ＩＣＴ教育の推進！



生徒を含めた大勢の参観者による授業

６月６日、３年１組で理科の研究授業を日根野教諭が行いました。長洲中の学力向上をめざし、今年はタブレット端末を活用したわかりやすい授業づくりをめざしています。教育委員２名と本校の教職員、各クラス代表の生徒など、多くの参観者の中で授業が進められ、実験結果をタブレットで撮影し、画像を大型ＴＶに送信して共有しながら授業が進められました。



タブレット端末を使って実験結果を撮影

生徒による授業研究会



研究授業に参加した生徒による研究会

３年１組の授業終了には、生徒による授業研究会を行いました。生徒会が進行役となり、クラス代表の生徒からは、授業のよかった点や改善点などが出されました。

本年度生徒総会！



各委員会からの発表

生徒総会を６月８日に行いました。昨年の生徒会活動の年間計画・会計報告などが承認されたあとは、委員会別に分かれて、各委員会の活動計画についての話し合いが行われました。最後に委員長がタブレットを使い報告を行っていました。

「更生保護」出前授業！



研究授業に参加した生徒による研究会

６月１４日に長洲町の保護司さん方による「更正保護に関する出前講座」を２年生に行いました。講師の先生は、法務省熊本保護観察所の秋本史隆さんとＮＴＴドコモの鈴山里美さんでした。少し難しい内容もありましたが話をしっかりと聞く２年生の姿に感心されていました。ネットトラブルの怖さも理解できたようです。

地区懇談会

長洲町教育長や教育委員さん方に出席いただき、本校の地区懇談会が６月６日に行われました。予定した内容を急遽変更し、学校の現状説明と各地区での危険箇所や不審者対策についての協議を行いました。



地区ごとの話し合い

地域の先輩に学ぶ！

本年度の取組の一つに、朝自習の時間に「地域の先輩に学ぶ」を計画しました。第１回目は６月６日、各課の役場職員から６名の先輩をお招きし、各教室で自分自身の中学生時代の様子や役場職員となったきっかけなどを語って頂きました。



３の１浜井さんの講話

「地域の先輩の学ぶ」講師一覧

クラス	講　師	勤務課
１の１	松田萌恵	まりづくり課
１の２	冷牟田夏葉	住民環境課
２の１	片山　直	税務課
２の２	宅島直希	建設課
３の１	濵井翔太	まちづくり課
３の２	竹原　良	福祉保健介護課



来校いただいた地域の先輩方

～いよいよ中体連大会～

玉名荒尾中学生総合体育大会が６月２３・２４日に行われます。組み合わせも決まり、大会に向けて熱が入ってきているかと思います。３年生最後の中体連、これまでの練習の成果が発揮されることを願っています。主な試合会場と対戦相手、開始時間は以下のとおりです。

６月２３日（土）

□バスケットボール　玉名市総合体育館
　１回戦　荒尾四中　９：３０～
□バレーボール　天水体育館
　１回戦　南関中　９：３０～
□野球　荒尾市営野球場
　１回戦　玉名中　１１：３０～
□サッカー　岱明中学校
　２回戦 有明中・岱明中の勝者　１４：３０～
□ソフトテニス　蛇ヶ谷テニスコート
　１回戦　玉名中　９：３０～

６月２５日（日）

□剣道　玉東町体育館
　男子：荒尾海陽中　９：３０～
　女子：玉名中　９：３０～
　団体戦終了後　個人戦
□ソフトテニス　蛇ヶ谷テニスコート
　個人戦　９：００～
□バスケット、バレーボール、サッカー準決勝・決勝が行われます。

※屋外競技は、当日の朝６時に態度決定が行われます。変更の場合はメール等で連絡いたします。各会場の車での応援は、駐車ステッカーを表示し所定の場所への駐車をお願いいたします。

目標実現へ努力大切

“地域の先輩”生徒に講話

長洲中

玉名郡長洲町長洲中学校（中山直幸校長）はキャリア教育として6日、同校で第1回「地域の先輩に学ぶ会」を実施。1～4年目の長洲町若手職員男女6人が各クラスで講話を行い、自身の体験談を基に、目標に向かって努力することの素晴らしさ、働く喜びなどを語った。



長洲中生徒に語り掛ける町職員の浜井さん

町職員となり4年目、まちづくり課で昨年度から広報担当をしている浜井翔太さん(29)は3年1組で「目標を持ち、その実現のため努力することが大切」と強調。「今の一日一日を大切に、楽しい学校生活を送ってください」と呼び掛けた。

浜井さんは同町出身。腹赤小学校1年生の時にサッカーを始め、腹栄中学校時代に全国大会常連の大津高校と熊本商業高校との対戦を見た。どちらにも腹栄中サッカー部の先輩がいた関係で試合会場へ足を運んだ。

熊本商が善戦、勝利まであと一歩へ迫った姿に感動し同校への進学を決意。目標を「大津高に勝つ」と定め練習に明け暮れた。2年冬の新人戦で対決が実現したものの2―5で敗れた。

「惜敗ともいえず目標は実現できませんでしたが、そのために努力したことは無駄ではありません」と説明。大学卒業後に地方銀行に就職。そこでいろいろな資格を取得した際の原動力は「やろうと思えば何でもできる」。郷土に貢献しようと26歳で転職、町職員となり、定住促進係を2年した後に広報担当へ。

「広報ながす」の今年4月号で航空パイロットになる夢を実現し、機長を目指している同町出身者を紹介したことを挙げ「すごい人のすごさをきちんと伝えることができて、大きなやりがいを感じました」と述べ「目標を見つけるまでの友達との交流や習い事なども、いつか必ず役に立ちます」とも促した。

（菅嶋　公尚）